

社会資本整備審議会 道路分科会 関東地方小委員会（平成23年度第1回）

議事概要

1. 日時 平成23年7月7日（木）18:45～20:30

2. 開所 九段第3合同庁舎 11階 共用会議室4

3. 出席者

[委員長]

石田 東生 （筑波大学大学院システム情報工学研究科教授）

[委員]

石渡 恒夫 （社団法人 神奈川経済同友会代表幹事）

久保田 尚 （埼玉大学大学院理工学研究科教授）

中村 文彦 （横浜国立大学大学院工学研究院教授）

二村 真理子 （東京女子大学現代教養学部国際社会学科准教授）

牧野 昌子 （特定非営利活動法人
ちば市民活動・市民事業サポートクラブ代表理事）

味水 佑毅 （高崎経済大学地域政策学部観光政策学科准教授）

[関東地方整備局]

道路部長 池田 豊人

道路企画官 垣下 禎裕

4. 議事

(1) 挨拶

・ 関東地方整備局 道路部長

(2) 審議

<委員からの主な意見等>

○資料3（第1回意見聴取の結果について）

- ・ 地域によって回答率が違うにもかかわらず、全体の過半数を超えているから良いとすべきではない。
- ・ 多数決をやるのがアンケートではない。計画段階で漏れていた地域の意見を反映し、現案を修正していくことが重要。
- ・ いろいろな団体から意見を頂くべきではないか。また、どのような団体から意見を頂くのか選定基準も明確にすべきではないか。

（次ページへ続く）

- ・ 1回目のアンケートで回答された方がその意見の扱いがどうなったかを知るためにも、次回アンケートで第1回アンケートの結果を示すべきではないか。
- ・ 現道（国道141号）改良がどの程度困難なのかももう少し詳しく説明すべきではないか。
- ・ 環境や景観に関する意見を踏まえ、対応案の中に環境・景観などの要素も取り入れる案もあるのではないか。
- ・ 北杜市域では、自治体の意見と住民アンケートの結果に意見の違いがあるよう見受けられるため、その原因を確認してほしい。
- ・ 外環ではオープンハウスを400回もやり丁寧な対応をしている。このような事例を参考にしつつ、丁寧に住民の意見を聞くことが大事。
- ・ 各委員から「丁寧に対応すべき」というご意見が出されたことを踏まえ、再度きちんと議論した方が良いと思うので、このまま第2回意見聴取を行うのではなく、もう一回ぐらい委員会を開催した方が良いのではないか。

以上